

ブックスタートで親子に接する皆さんへ

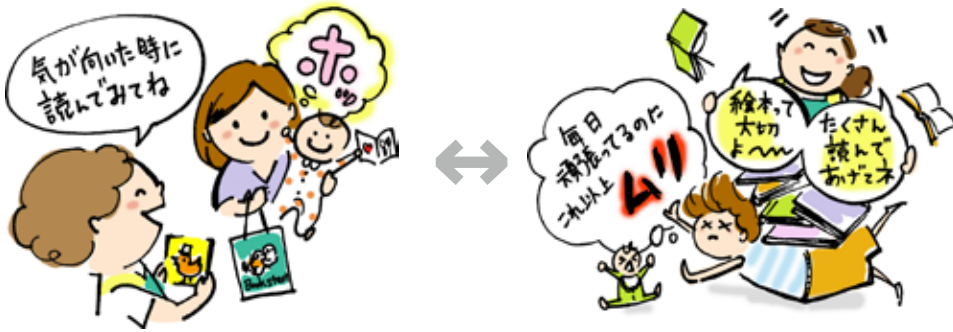
皆さんは、ブックスタートに携わる中で、「こんな時は親子にどう接したらよieldろうか」と悩んだことはありませんか？ また、これから活動に参加する方の中には、「赤ちゃんにどうやって絵本を読めばいいのかな」「親子に接する際、どんなことに気を配ったらいいだろう」など、様々な疑問をお持ちの方もいらっしゃるかもしれません。

本冊子では、ブックスタートに携わる皆さんに向けて、活動のヒントとなる情報をまとめています。とはいえこの冊子は、「この通りにやりましょう」というマニュアルとして作成したものではありません。なぜなら、ブックスタートを実施する各地の環境も、目の前にいる親子も、すべてが同じではないからです。この中から皆さんの地域の活動に合った情報を見つけて、実践に役立てていただければ幸いです。



目次

ブックスタートで親子に接する皆さんへ	2
1 はじめに	4
ブックスタートとは／イギリスで発祥／主役は赤ちゃんと保護者／「絵本をプレゼント」する意味／絵本をひらく時間の楽しさを「体験」してもらう意味	
2 会場設営の工夫や配慮	6
親子がリラックスできる雰囲気づくり／安心・安全に。衛生面にも配慮して／Q&A「きょうだいと一緒に来ている場合は？」／活動の内容を事前に伝える／ロゴマークは「ラッコの親子」	
3 親子を出迎える	10
待ってもらうときは声かけを／心からの笑顔で出迎えて／Q&A「保護者が早く帰りがたっている場合は？」／自己紹介をする／緊張をほぐす工夫	
4 活動の趣旨を伝える	14
相手の状況に配慮して説明する／Q&A「話に興味がなさそうな保護者に説明するには？」	
【コラム】親子を知ること① 保護者の現状と子育て支援のあり方	16
5 絵本を読む	18
赤ちゃんのペースに合わせて／意識し過ぎず自然に／赤ちゃんの様子を言葉にして伝える／絵本を介した様々なコミュニケーション方法を伝える／Q&A「赤ちゃんが泣いている・寝ている場合は？」／子育て支援の専門家から～大日向 雅美	
6 子育てを応援する	22
親子が地域とつながるきっかけを／保護者の思いを受け止める／見送りも心を込めて／子育て支援の専門家から～武田 信子	
7 外国語を母語とする親子へ	26
外国にルーツを持つ人は増えている／絵本は母語でも楽しめることを伝えて／いつも通りに。でも、ときにはおせっかいも必要／NPOブックスタートからの提供物	
8 障がいのある赤ちゃんや保護者へ	28
障がいのある人も絵本のひとときを楽しめるように／NPOブックスタートによるサポートと提供物	
【コラム】親子を知ること② 0歳の赤ちゃんの発達と絵本の楽しみ方（監修：榊原 洋一）	30



保護者の中には、赤ちゃんと生活を楽しいと感じながらも、育児の負担を一人で抱えていたり、日々の忙しさに追われて精神的に余裕のない人もいるかもしれません。様々な状況で子育てをしている保護者一人ひとりに活動の趣旨を伝えるためには、どのような心がけが必要でしょうか。

相手の状況に配慮して説明する

ブックスタートの趣旨を保護者に伝えるにあたり、内容をきちんと把握しておくことは大切ですが、それらすべてを話すこともあれば、相手によっては伝えることを選んで話した方がいい場合もあるでしょう。なぜなら、日々の育児に手一杯で「絵本どころではない」という保護者もいるかもしれないからです。大切なことは、「言いたいことをどれだけ伝えられるか」ではなく、「この親子に何を伝えればよいか」という視点。相手の状況に配慮した、臨機応変な対応が必要です。

また、読みきかせの“必要性を説く”ことは、保護者にさらなる負担を背負わせてしまいかねません。ブックスタートを通して伝えたいのは、「絵本を使って親子のふれあいを楽しめる」ということなのです。



福島県二本松市

<説明内容例>

- ・ 赤ちゃんの幸せを願い、絵本を開く楽しい「体験」と「絵本」をセットでプレゼントしていること。
- ・ 保護者やまわりの大人など、大好きな人から話しかけられることは、赤ちゃんにとって嬉しくて気持ちがいいこと。
- ・ 絵本は赤ちゃんとのコミュニケーションをとるための、一つのツールになること。
- ・ 絵本を介して赤ちゃんに語りかけるゆったりとした時間は、保護者にとっても安らぎのひとときになる可能性があること。
- ・ お母さんだけでなく家族の誰もが、絵本を介して赤ちゃんと一緒に楽しい時間を過ごせること。
- ・ 絵本は「読まなくてはならない」ものではないこと。赤ちゃんや保護者が好きな時に、気軽に開いてみてほしいこと。



アドバイス ブックレット「赤ちゃんといっしょにはじめまして 絵本」を活用することもできます

事例

親子の様子を見て、伝える内容をコンパクトに

活動を始めたばかりの頃は「色々なことを伝えなければ」という思いばかりが先行していましたが、今はとにかく保護者にホッとした時間を過ごしてもらいたいという気持ちで接しています。だから、相手に合わせた対応ができるように、ブックスタートの受付をしている際の親子の様子をさりげなく見て、「赤ちゃんのご機嫌はどうか？ 保護者の表情はどんな感じかな？」と気かけます。実際に保護者と話をする時には、伝えるポイントはぶれないようにしつつも、場合によっては説明を短くすることもあります。(東京都狛江市)

Q&A こんなとき、どうする？

Q 話に興味がないような保護者に説明するには？

A ブックスタートで最も大切なことは、「赤ちゃんに絵本を開くひとときって楽しいな」と保護者に感じてもらうこと。興味のない人に「活動の趣旨を伝えなければ」と無理に話を続けても、伝えたいことが相手に届かないかもしれません。それならいっそ、細かい説明は抜きにして、実際に絵本を赤ちゃんに読んでみてはどうでしょう。赤ちゃんが楽しんでいる様子を見てもらうことが、保護者への何よりのメッセージになります。